【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【公開番号】特開2001-204492(P2001-204492A)
【公開日】平成13年7月31日(2001.7.31)
【出願番号】特願2000-15751(P2000-15751)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/06　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/06
Ｃ１２Ｑ　1/18

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月7日(2006.11.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】微生物をテトラゾリウム化合物及び該テトラゾリウム化合物への電子キャリアーの共存下で培養し、前記テトラゾリウム化合物が還元されて生成したホルマザンを分光法により定量することで、前記の微生物の増殖及び/又は活性を測定する方法であって、前記テトラゾリウム化合物及びその還元生成であるホルマザンが水溶性であることを特徴とする方法。
【請求項２】微生物を抗菌剤、テトラゾリウム化合物及び該テトラゾリウム化合物への電子キャリアーの共存下で培養し、前記テトラゾリウム化合物が還元されて生成したホルマザンを分光法により定量することで、前記微生物の前記抗菌剤に対する感受性を評価する方法であって、前記テトラゾリウム化合物及びその還元生成であるホルマザンが水溶性であることを特徴とする方法。
【請求項３】テトラゾリウム化合物が、ジスルホネートテトラゾリウム塩である請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】ジスルホネートテトラゾリウム塩が2-(4-ヨードフェニル)-3-(4-ニトロフェニル)-5-(2,4-ジスルホフェニル)-2H-テトラゾリウム塩または2-(4-ヨードフェニル)-3-(2,4-ジニトロフェニル)-5-(2,4-ジスルホフェニル)-2H-テトラゾリウム塩である請求項３に記載の方法。
【請求項５】 電子キャリアーが1-メトキシ-5-メチルフェナジニウム メチルスルフェートまたはフェナジニウム メチルスルフェートである請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。